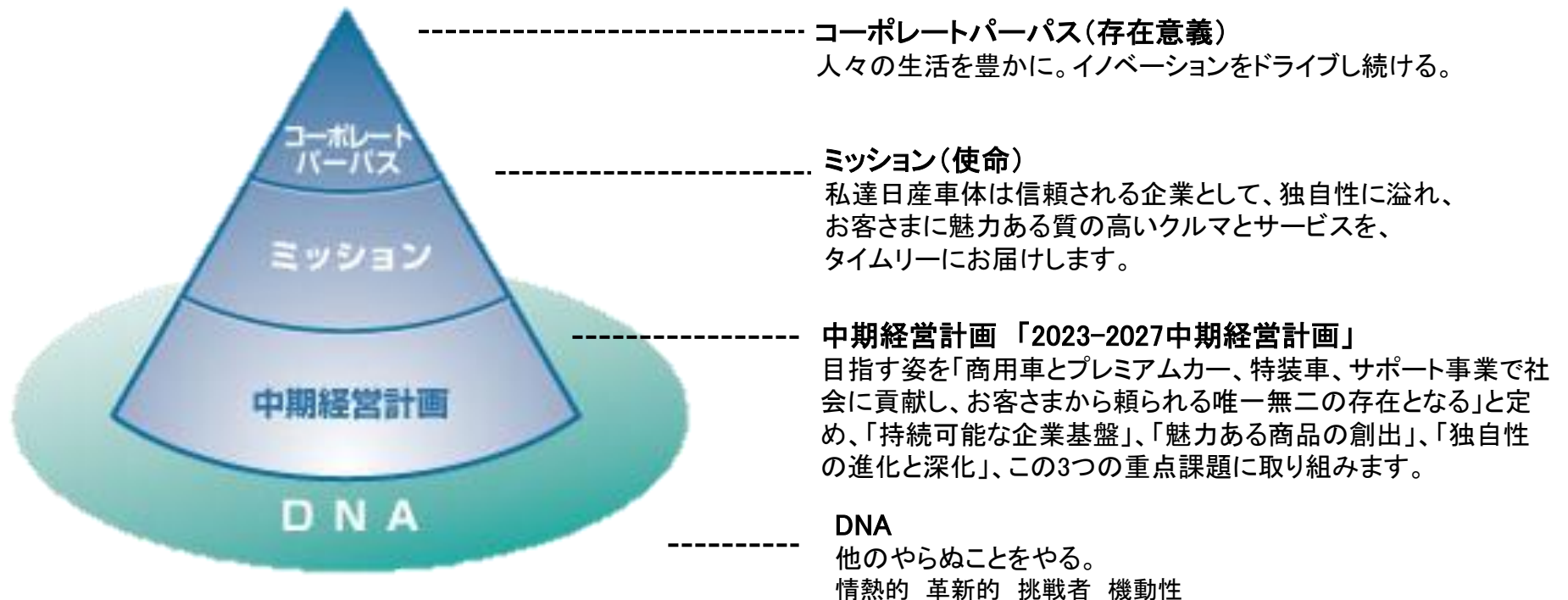


日産車体株式会社

個人投資家向け会社説明資料

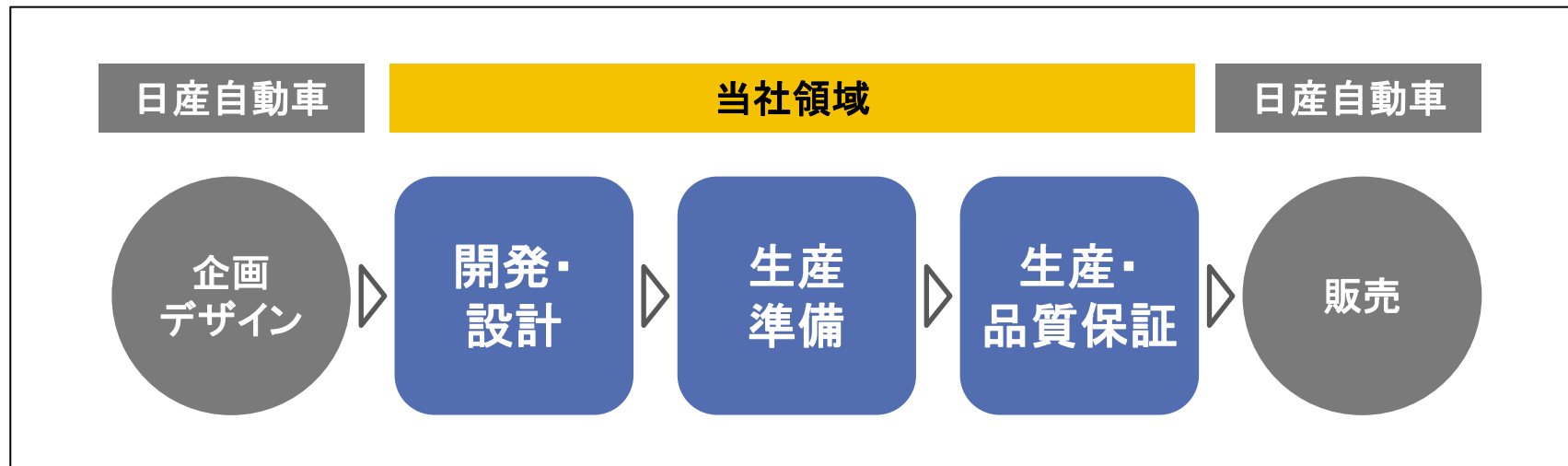


コーポレートパーパス・ミッション等



Outline

日産車体は、
商用車・プレミアムカーを中心とした開発・設計から
生産準備、そして工場での生産・品質保証までを担う
日産グループの完成車メーカーです



日産車体グループ

湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,698名	1,104名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2023年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニファクチャリング株式会社

- ▶ 自動車部品のプレス加工・組立、樹脂製品の成形・組立

日産車体エンジニアリング株式会社

- ▶ 機械設備等の保全・整備、各種設備工事、物流業務

株式会社 オートワークス京都

- ▶ 自動車の特別架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

- ▶ システム開発・プログラム開発業務

株式会社 プロスタッフ

- ▶ 人材派遣

沿革

年 月	社 歴
2019年	7月パトロール(Y62)2020モデル生産開始
2018年	パラメディック(E26)発表
2016年	6月、日産車体九州で北米向け大型SUVの「新型アルマーダ」生産開始
2014年	3月、新本社を第2地区に竣工・湘南再編完了
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立／生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立

▶ INFINITI



インフィニティ QX80

▶ LCV



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバン



▶ フェアレディZ



主な生産車

湘南工場



NV200
VANETTE
NV200 バネット



AD
AD



PATROL
パトロール：Y61



PATROL PICKUP
パトロール ピックアップ



CARAVAN
キャラバン

日産車体九州



QX80
QX80



PATROL
パトロール：Y62



ARMADA
アルマーダ



ELGRAND
エルグランド

オートワークス京都



救急・医療関係車両



消防関係車両



幼稚園バス



公共応急作業車両



公共応急作業車両

※ 株式会社オートワークス京都は、パラメディック(高規格救急車)など救急・医療関係車両、消防関係車両、幼稚園バス、公共応急作業車両など働くクルマの架装を行っている日産車体株式会社のグループ会社です。

特長

完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

湘南工場

LCVを中心とした多車種少量生産の
一大拠点



▶ モノコック車



▶ フレーム車

日産車体九州

厳しい品質基準をクリアし、日産のプレミアムブラン
ドである「INFINITI」の生産を許されている工場



▶ ローラーヘミングによるエンジンフードの生産



▶ 3-WET塗装

特装車

グループ内での一貫生産により、高品
質な特別仕様車をスピーディに提供



決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、エネルギー価格・原材料価格の高止まり等、引き続き先行き不透明な状況が続いているが、半導体不足の影響や中国における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の抑制の影響等を受けた前年同期と比べ生産活動は回復した。このような環境において、台数増加の影響等により、増収・増益となった。

売上台数

主に「AD」や「NV200バネット」等の商用車が増加したことで、前年同期と比べ18.6%増加の71,769台

売上高

台数増加の影響等により、146億円増加の1,455億円

営業利益

15億円増加の4億円

経常利益

13億円増加の6億円

親会社株主に帰属 する四半期純損益

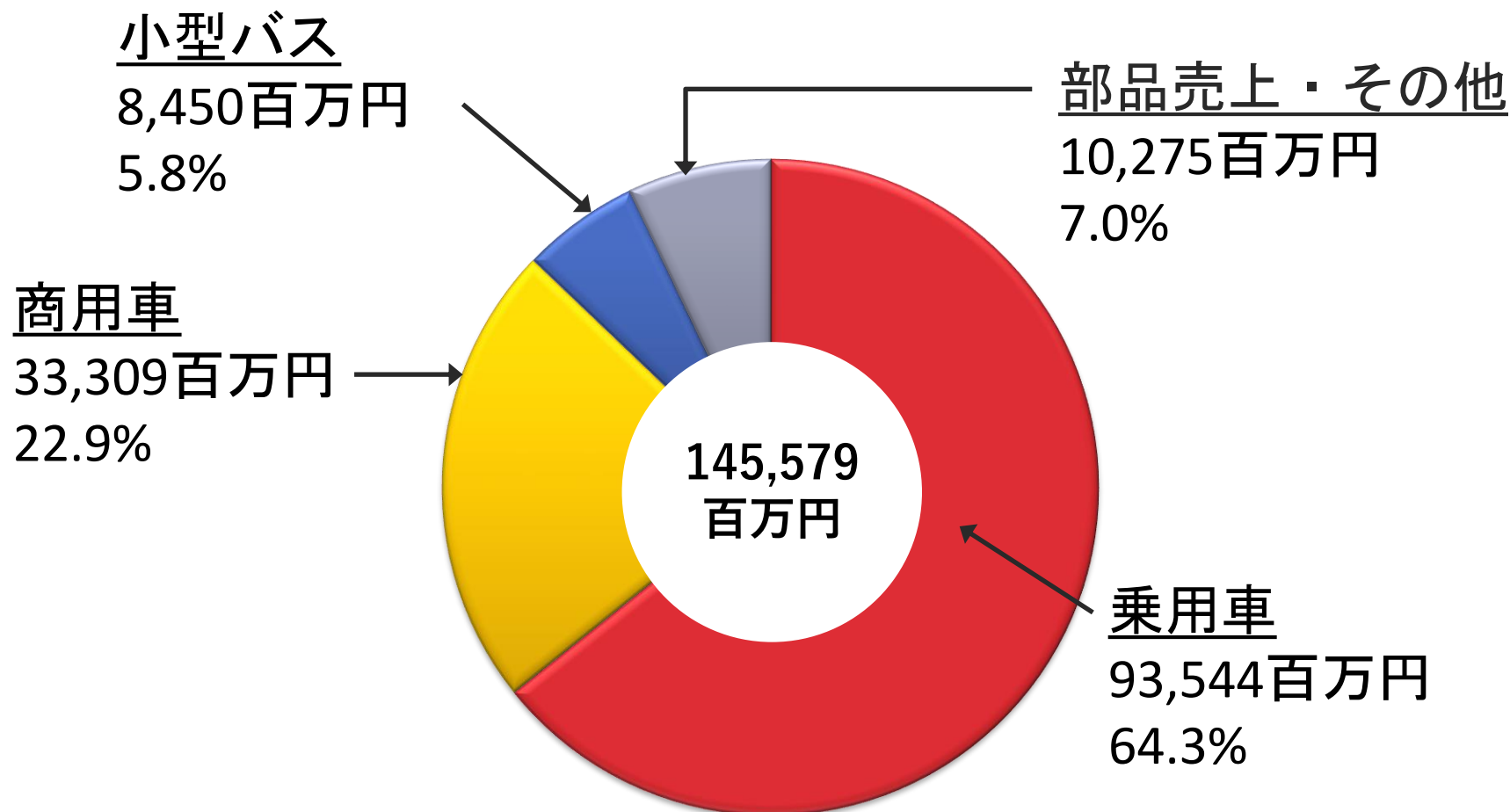
9億円増加の4億円

業績ハイライト

単位: 百万円

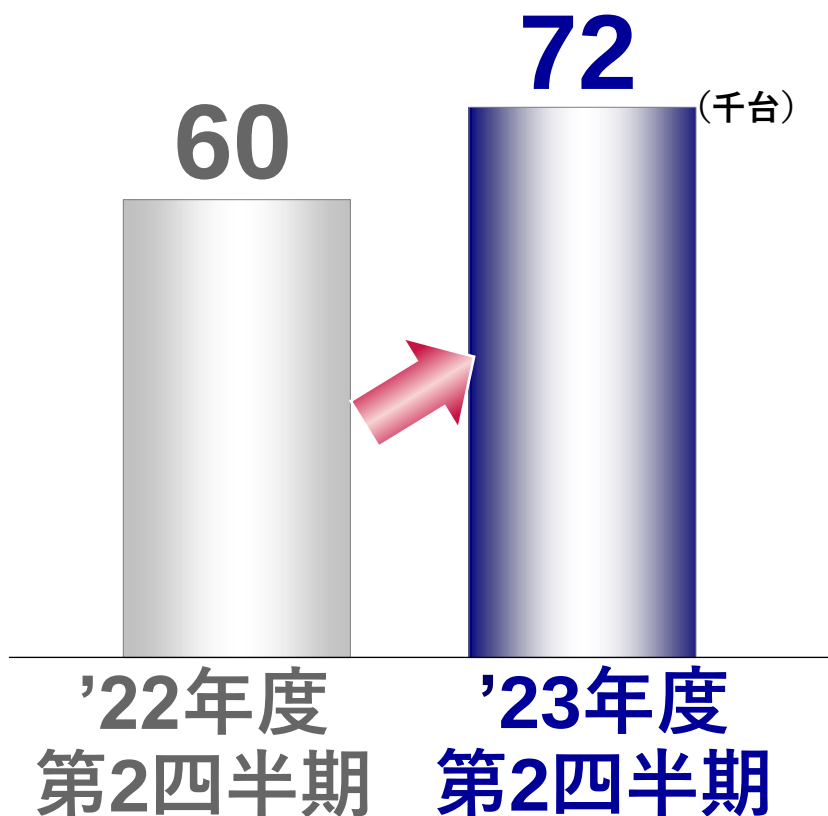
	2022年度 第2四半期 (2022/4～9)	2023年度 第2四半期 (2023/4～9)	増減額(率)		通期計画
売上高	130,945	145,579	14,634	11.2%	307,900
営業利益	▲ 1,040	488	1,528	—	2,000
経常利益	▲ 633	695	1,328	—	2,400
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 544	414	958	—	1,100

製品別売上高構成比



売上台数

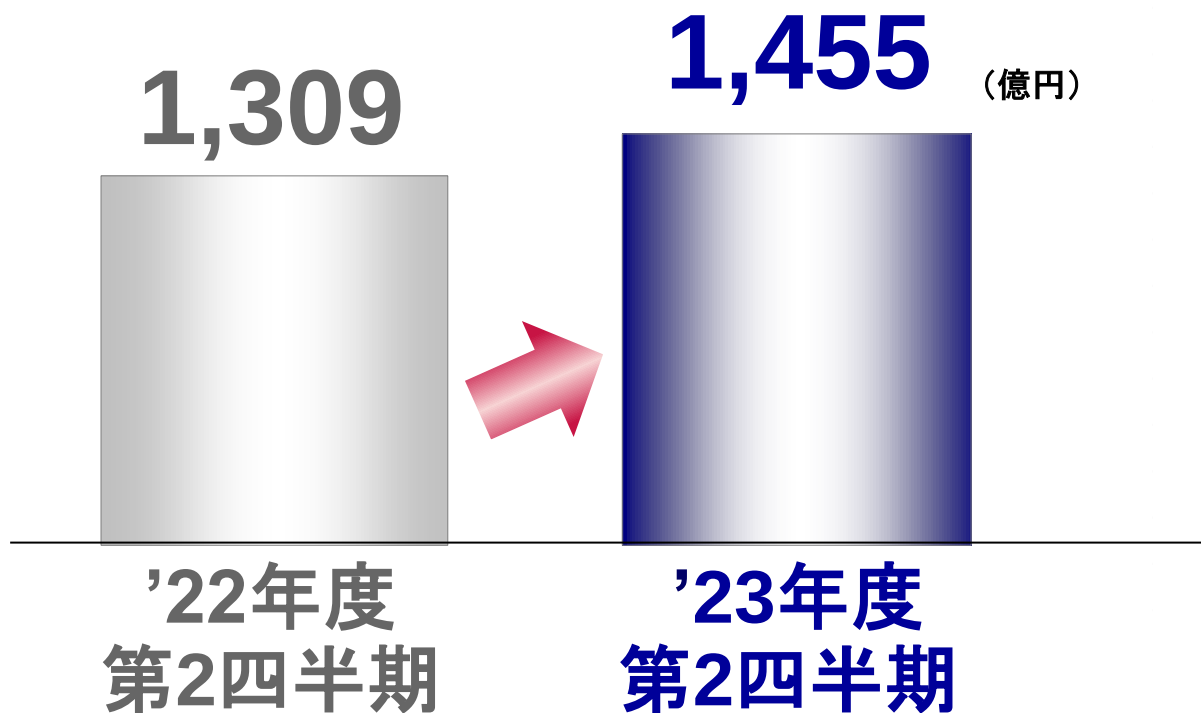
「AD」や「NV200バネット」等の商用車が増加したことで、前年同期と比べ18.6%増加の71,769台



	(千台)		
	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	38	37	-3.9%
商用車	18	29	62.1%
小型バス	5	6	31.4%
合計	60	72	18.8%

売上高

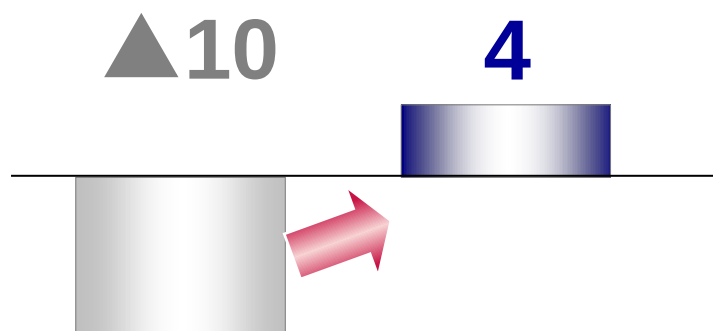
「AD」や「NV200バネット」等の商用車の売上が伸びた結果、146億円増加の1,455億円



営業利益／経常利益

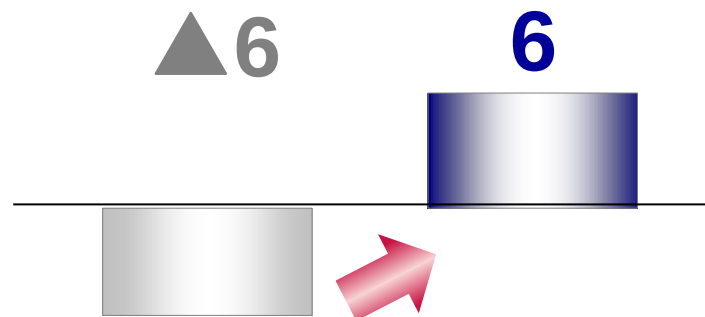
営業利益は15億円増加の4億円
経常利益は13億円増加の6億円

営業利益 (億円)



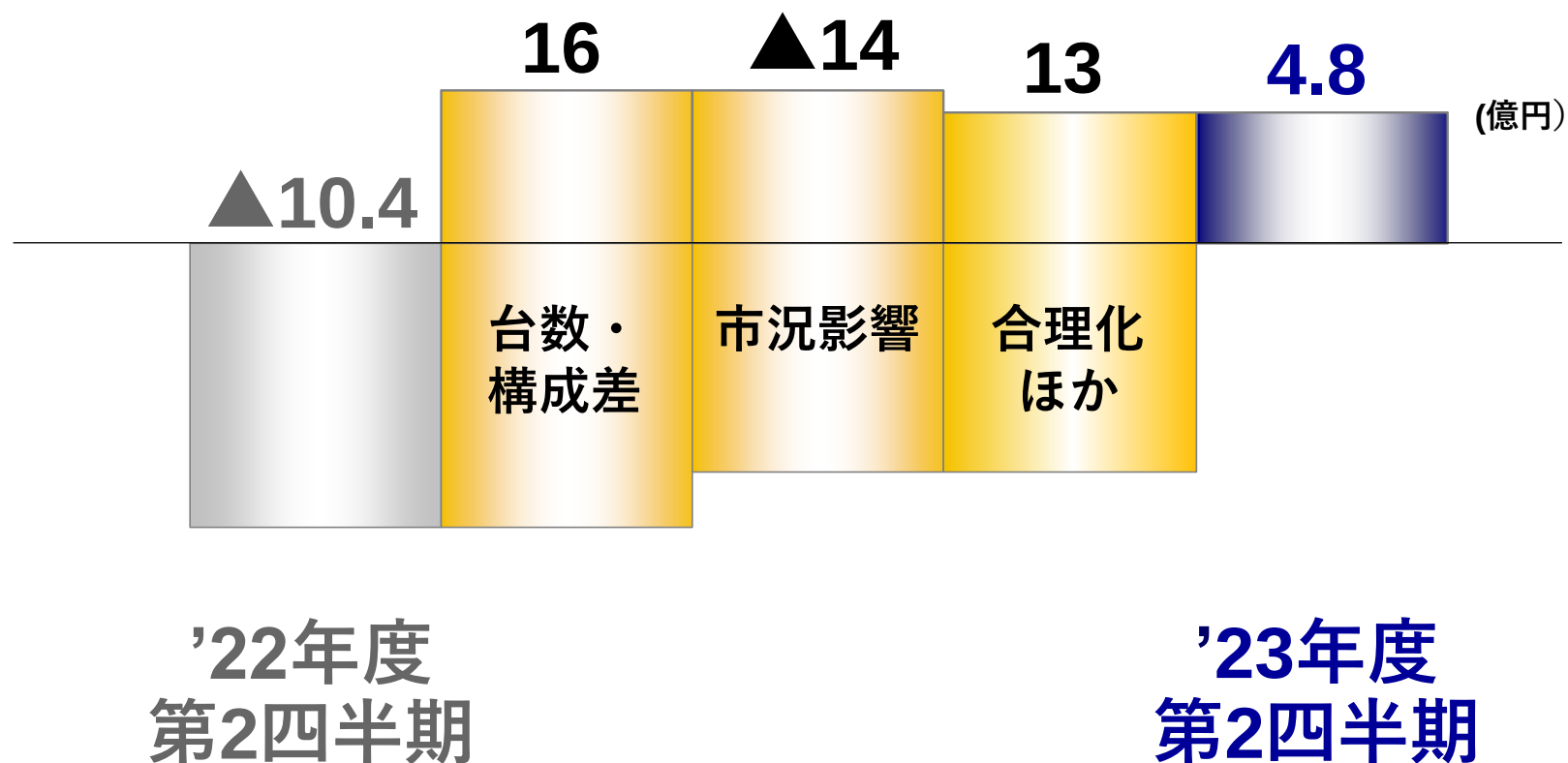
'22年度 第2四半期 '23年度 第2四半期
第2四半期 第2四半期

経常利益 (億円)



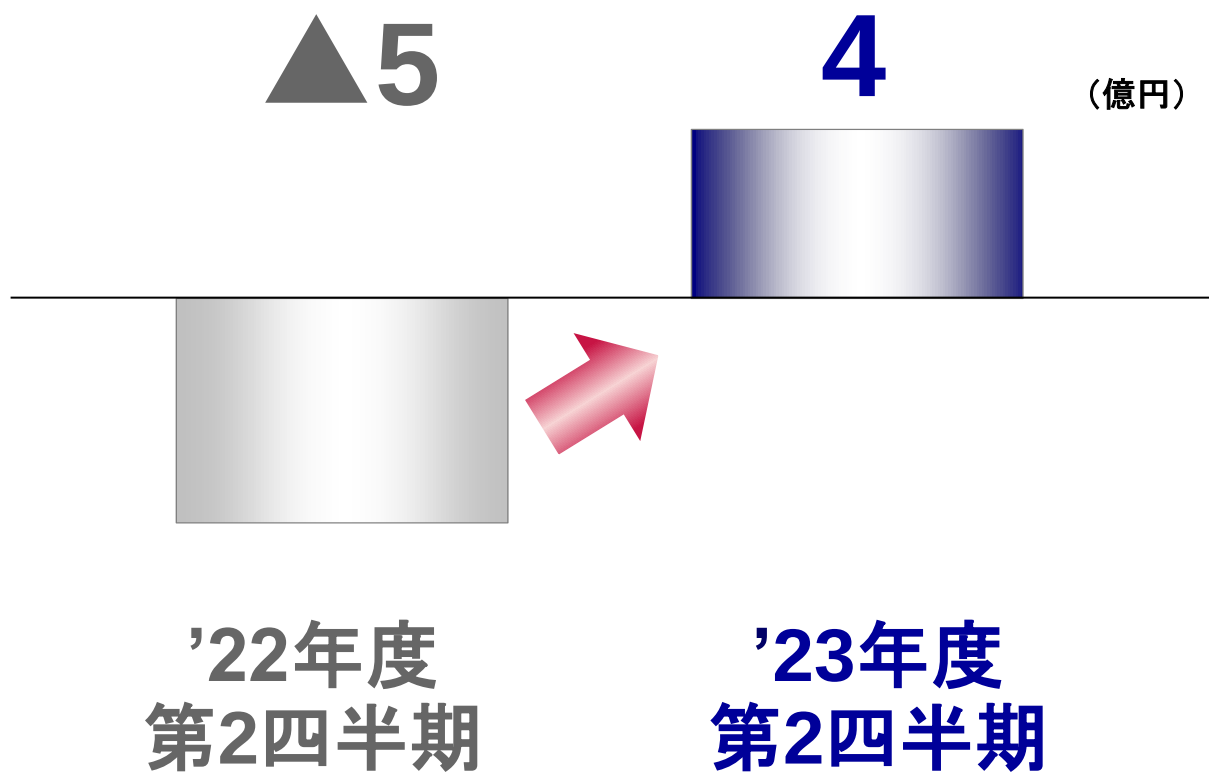
'22年度 第2四半期 '23年度 第2四半期
第2四半期 第2四半期

営業利益の増減要因



親会社株主に帰属する四半期純利益

9億円増加の4億円



株主還元

安定配当を継続する基本方針のもと、2024年3月期は年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

